



今年度、新しく赴任された先生方の推薦図書をご紹介します。

### 『むかし・あけぼの』(文藝春秋)

### 『新源氏物語』(新潮社)

田辺聖子・著



高校生の頃、古典が好きで、その世界観にあこがれ、現代語訳の枕草子と源氏物語を読みました。いずれも田辺聖子さんが現代のよみものとして長編小説にした『むかしあけぼの』と『新源氏物語』です。『むかしあけぼの』は枕草子を題材にした清少納言の伝記的小説です。昨年度の大河ドラマ『光る君へ』では清少納言と紫式部が交流するような場面が出てきましたが、この本の中ではお互いに意識はしていたものの、面識はなかったというように書かれています。清少納言は頭の回転が速くて、当意即妙の受け答えが得意。そして何より彼女が仕える中宮定子への愛がものすごく、敬愛する定子との雅で知的なやりとりで心惹かれます。『新源氏物語』は光源氏が主人公の小説なので、紫式部の人となりは直接は読み取れませんが、歴史に残る女流大作家の作品を現代感覚で読むことができますので、是非どちらも読んでみてください。

☆先生方の推薦図書は、カウンターに展示中です！貸出しもできます。図書館に所蔵がない図書も相互貸借で借り受けることができます。

### 『王妃マリー・アントワネット』

遠藤周作・著 (朝日新聞社)



高校時代の読書を問われたら、頭に浮かぶ本が二冊ある。というか二冊しかない。お世辞にも読書好きとは言えない高校生だったが、それでも、その後の進路に少なからず影響を与えるような書物との出会いが、二年次にあった。

一冊は、遠藤周作の「王妃マリー・アントワネット」で、生徒諸君には「天声人語」でおなじみの朝日新聞社から発行された、フランス革命前後を描いた歴史小説。中学時代に通っていた英語塾の先生から贈られ、ぜひ読むようにと強く薦められた。七百頁を超える長編で、さほど興味もわかずしばらく放置していたが、いざ読み始めると物語の展開に知的好奇心がわいて止まらず、気がつけば一気に読み終えてしまっていた。当時は大学入試の社会科受験科目で迷っていたが、この一冊をきっかけにそれまで眠っていた世界史への関心が急激に高まり、結果入試で得点源にできるほどになった。

「歴男・歴女」ではない諸君に、ぜひお薦めしたい。

### 『一生困らない女子のための「手に職」図鑑』

華井由利奈・著 (光文社)



パティシエの離職率は？

パティシエ、フライトアテンダント(キャビンアテンダント)、ウェディングプランナー。これらの仕事は華やかで人気があるようですが、実は離職率が高く、若いうちに退職している例も見られます。

例えばパティシエは、1年以内に辞める人が70%、3年以内だと90%、10年以内だと99%にのぼるといわれています。なぜこれほど多くの人が辞めてしまうのでしょうか？

『一生困らない女子のための「手に職」図鑑』を読んで、なりたい職業の離職率を調べてみるのもいいかもしれません。なぜ離職してしまうのか…理由を考えてみましょう。進路選択や探究学習に役立つかもしれません。

## 『話を聞かない男、地図が読めない女』

アラン・ヒーズ、バーバラ・ヒーズ 著/藤井留美・訳

(主婦の友社)



随分読書をしていませんが、以前読んだ『話を聞かない男、地図が読めない女』という本を紹介します。

狩猟時代、男性は狩りを行い、女性は木の実や果物を採るなど役割分担が行われており、進化の過程で男女の脳に違いが生じてしまいました。この本の中では男女の脳の違いについて具体的な例をあげて紹介されており、タイトルのように「男性は話を聞かない、女性は地図が読めない」だけでなく、「女性の会話はコミュニケーションであり、男性は情報伝達」や、「口喧嘩では女性は感情的に訴え、男性は論理的に話す」など、読み進めるにつれ、納得していくことが多く紹介されています。

全てが当てはまるとは限りませんが、十人十色というように、他の人を理解するためには非常に参考になるのではないのでしょうか。

## 『成瀬は天下を取りに行く』

『成瀬は信じた道をいく』

宮島未奈・著 (新潮社)



「成瀬になりたい」、この本を読んでそう思いました。本屋大賞を受賞した『成瀬は天下を取りに行く』『成瀬は信じた道をいく』この2冊を前任校の図書館で借りて読みました。成瀬はみなさんと同じ年代の女の子です。おもいついたことを即実行し、自分のやりたいことを何事も恐れず挑戦するさまが勇気をもらえます。日本人は空気を読むってよく言われますが、成瀬は全く空気を読みません。みんな成瀬みたいになりたいなって思いますが、でもなれません。そこに成瀬への憧れを感じます。人目を憚らず思うままに生きてしまえることがこんなに魅力的なことかと感じ、自分自身の殻を破るきっかけとなるのではないかと思える1冊です。成瀬の将来の夢が200歳まで生きる、成瀬なら本当にやってのけるのではないか……。忙しい毎日をご過ごしているみなさんには、なかなか読書の時間がとれないかもしれませんが、読書は自分の知らない世界や新しい視点や考え方に触れるチャンスです。勉強や部活動の気分転換に読書はいかがですか？

※国立国会図書館サーチ「書影API」使用

## 群馬県立図書館 夏休み高校生ボランティアの募集

1. 趣旨 県民に開かれた図書館づくりの一環として、高校生を対象に社会参加と体験活動の場を提供します。
2. 応募者の要件 図書館に関心を持ち、ボランティア活動に意欲のある高校生で、全日程(7/30水～8/1金)での活動が可能な者
3. 募集人員 18名程度 ※定員を大きく超えた場合は調整を行います。
4. 募集期間 令和7年5月23日(金)～6月19日(木)
5. 申込について 参加を希望する生徒は参加申込書に必要事項を記入し、各学校担当者に提出してください。

☆参加申込書は本校図書館にあります。校内締め切りは6/16(月)です。興味のある人、申込みを希望する人はお早めに図書館までお問い合わせください。